

第42回政府現地対策本部会議 第47回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年8月2日（火） 16:30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 被害の状況

(1) 被害の状況

- ・死者87名

前回比熊本市で+6名の報告があり。補足資料を添付。

安否不明者は1名と変更ありませんが、行方不明となっておられる方のものと思われる車が、7月24日に発見されたが、現在、県、警察、消防、国土交通省と関係機関により、どのような手法が可能であるのか、急ぎ調査検討中。できるだけ早く、現場での作業に着手したい。

- ・熊本地震による重軽症者数2,169名
- ・大雨の被害で地震との関連が認められたものは2名

(2) 住家被害

- ・熊本地震による住家被害は160,147棟
- ・大雨の被害で地震との関連が認められたものは54棟

(3) 避難の状況

- ・11市町村で58の避難所において2,844名の避難者
- ・前回から、1,183名の減

(4) 避難指示等の発令状況

- ・避難指示2市町、避難勧告4市町村で発令中

(5) 罹災証明の状況

- ・受付件数が37市町村で、169,150件
- ・2次調査の依頼件数が29市町村で、39,701件
- ・交付件数が37市町村で、160,436件
- ・交付率94.8%

2 県等の対応状況

(健康福祉部)

- ・仮設住宅への対応について

建設着手が3,813戸、うち工事完了しているものは2,871戸

民間のみなし仮設への申し込みは、6,929件

- ・義援金の状況について

本日12時現在で383億円余となっている。

本日、第3次配分委員会を開催し、第3次配分を行ったところ。

- ・地震関連死認定基準の策定について

各市町村が認定基準を策定する際の参考として準則を策定し、市町村に通知を行った。

(環境生活部)

- ・廃棄物処理施設の状況について

施設 23 施設の 29 設備が被災したという最終報告

これまでの報告は、13 施設 19 設備としていたが、これは一部稼働停止をしたものを報告していた

大阿蘇環境センターは復旧しており、残るは熊本市のし尿処理施設が先行き不明という状況

- ・損壊家屋等の公費解体について

本日より資料掲載を開始した。

本人申請、現地調査、アスベスト調査、所有者立会等色々な手続きを経て解体工事着手となるが、その解体工事に着手している市町村は9市町村

解体戸数については、日々変更するので、後日まとめて報告する。

- ・水道施設の被害状況について

豪雨による被害状況について、南阿蘇村において配水管の調査補修のための断水が起っている

(農林水産部)

- ・6月19日からの豪雨被害の続報

第2報で318億円としていたが、8月1日現在で50億円の増で368億円となった。内訳としては、農地被害が5億円の増、林務関係被害が40億円余の増、水産関係被害が前回調査中だったものが3億1千万円となっている。

(教育庁)

- ・県立体育施設の被害状況について

県民総合運動公園うまかなよかなスタジアム、藤崎台野球場は再開済み

本日から、熊本武道館が一部であります、剣道場等が再開

県立総合体育館は、9月24日目標に再開予定で動いている

3 国等の対応状況

(気象庁)

- ・地震回数は少ない状態で経過している

- ・7月19日以降は0回～6回で経過

- ・7月22日に震度3を1回観測し、それ以外は震度2以下の地震

- ・地震の回数は減ってきているが、引き続き余震には警戒が必要
- ・明日も日射により、激しい雨が予想され、多い所で時間雨量30～40ミリ程度を特に山沿いを中心に降雨が予想される。雷を伴う強い雨が予想される。
- ・気温について、本日も各地で35度を超える猛暑日となっています。県内では本日まで6日続けて猛暑日を記録している。今後1週間も期間を通して、高気圧の張り出しにより35度を超える猛暑日が続くものと予想される。屋外の作業される場合は、水の補給等熱中症対策をお願いします。

4 政府現地対策本部の発言

(内閣府 緒方審議官)

前回の会議から1週間経ったが、余震が0の日もあり、また、避難所の避難者の数も3,000人を切ったという状況。7月26日に予備費の第4段として、公共土木施設や災害廃棄処理施設や熊本大学などの復旧費を計上し、合計で654億円の額が閣議決定された。また、今進められている政府の経済対策においても熊本地震や東日本大震災からの復興、防災対策の強化が柱となった取組みを進めており、引き続き事業を取り組み、熊本の復旧復興を進めていきたいと思っている。先週の8月29日に中央防災会議に設置されている、熊本地震を踏まえた応急対策生活支援策検討のワーキングが立ち上がっており、第1回目を開催した。メンバーには蒲島知事にも入っていただいております、その第2回目を、8月30日に熊本県庁の会議室を借りて開催する。こういった取り組みの中で、熊本地震の対応を検証し、今後の我が国の震災対策に努めて参りたいと思っている。こちらについても協力をお願いしたい。

それから、今回の震災で行方不明となっておられる、行方不明の方の捜索のための調査を検討されているということだが、1日でも早く調査に着手できるよう、大変暑いなかであるが、関係機関の皆様には是非よろしくをお願いしたいと思っている。

8月に入り、本格的に暑い夏となってきた。体調管理にくれぐれもご留意いただき国と県一体となりましたチーム熊本としての被災地の支援と、熊本の復旧復興に取り組んでいきたいと思う。よろしく申し上げます。

6 県災害対策本部長の発言

(坂本公室長)

まず、「復興・復旧プラン」について説明したい。県では、7月29日に復旧復興の本部会議を開き「復興・復旧プラン」の原案をお示しした。明日8月3日の知事定例記者会見において、最終発表することとしている。このプランのもと、庁内各課、各市町村一体となって創造的復興に取り組んでいきたいと考えているので、関係者の皆様の協力をよろしくをお願いしたい。

また、行方不明の方の捜索について、本日から明日にかけて、阿蘇大橋付近の調査

を行っている。関係機関の御協力に心から御礼申し上げる。

また、先ほど緒方審議官からお話があったとおり、26日に予備費の第4段の654億が示された。今回の経済対策においては、熊本地震が一つの柱としていただいている。緒方審議官をはじめ、皆様の御尽力に感謝申し上げたい。

なお、連日、気温が35度を超え猛暑日が続いている。熊本地震からの復旧に向け、屋外で作業されている方々におかれては、熱中症に十分注意のうえ、作業を進めていただきますようお願いしたい。

(以 上)